

# 人生100年時代は 健康診断100%へ

現在の実施率は、特定健診53.1%、保健指導19.5%に留まっている。  
企業や自治体が積極的に取り組み、誰もが健康に活躍できる社会を。

○**人生100年時代。健康は、何歳になっても自分らしく活躍し続けるための基盤。**  
人生100年時代は、生き方・働き方が多様化する時代。何歳になっても自分らしい選択で、学び直し、働き続けるためには、健康管理こそが重要な基盤になる。

○**長く健康であり続けるための予防。健診を受けることはその根幹。**  
健康診断・特定保健指導を受けることが、一番の予防につながる。  
1次予防：健診結果から自分自身の生活習慣の問題点を自覚し、改善する。  
2次予防：病気を早期に発見し、早期治療につなげる。

○**しかし現状では、特定健診53.1%、保健指導19.5%に留まっている。**  
「誰もが健康診断を受ける社会」を実現するためには、保険者（企業や自治体など、健康保険事業の運営主）の積極的な取り組みが欠かせない（40歳以上は、実施が法定義務とされている）。しかし、全体の実施率は高い水準とは言えない。

○**特定健診・特定保健指導の実施率公表は、「健康診断100%」に向けた一歩。**  
今回、実施率のランキングを発表したのは、頑張っている企業や自治体を評価し、同時に社会全体の意識の底上げを図っていくためである。そして、誰もが健康診断を受け、いつまでも健康に活躍できる社会をつくっていく。

# 2017年度 特定健診 実施率ランキング

自由民主党 厚生労働部会  
厚生労働行政の効率化に関する  
国民起点プロジェクトチーム

## 健保組合・共済 など

順位	保険者名	実施率
1	大興製紙 健康保険組合	100.0%
2	山形銀行 健康保険組合	98.9%
3	ナイガイ 健康保険組合	98.6%
4	雪の聖母会 健康保険組合	98.4%
5	矢崎化工 健康保険組合	98.3%
6	スズキ 健康保険組合	97.3%
7	K O A 健康保険組合	95.9%
8	群馬銀行 健康保険組合	95.6%
	日新電機 健康保険組合	95.6%
10	沖縄銀行 健康保険組合	95.5%

## 市町村国保（市・区）

順位	保険者名	実施率
1	飛騨市 (岐阜県)	65.3%
2	日置市 (鹿児島県)	64.2%
3	南砺市 (富山県)	62.9%
4	多久市 (佐賀県)	61.0%
5	砺波市 (富山県)	60.9%
	士別市 (北海道)	
7	いちき串木野市 (鹿児島県)	60.6%
8	国東市 (大分県)	58.6%
9	妙高市 (新潟県)	58.0%
10	小千谷市 (新潟県)	57.8%

## 市町村国保（町・村）

順位	保険者名	実施率
1	西米良村 (宮崎県)	79.7%
2	五木村 (熊本県)	78.4%
3	椎葉村 (宮崎県)	75.5%
4	鮫川村 (福島県)	74.0%
5	喬木村 (長野県)	73.4%
	柳津町 (福島県)	
7	三島町 (福島県)	73.3%
8	東村 (沖縄県)	72.6%
9	山江村 (熊本県)	71.8%
10	さつま町 (鹿児島県)	71.6%

※ 特定健診・保健指導の実施率が全国の平均値より高い保険者を対象として掲載。

※ 特定健診・保健指導の対象者数が10人未満の保険者はランキングの対象外としている。

# 2017年度 特定保健指導 実施率ランキング

自由民主党 厚生労働部会  
厚生労働行政の効率化に関する  
国民起点プロジェクトチーム

## 健保組合・共済 など

順位	保険者名	実施率
1	三保造船 健康保険組合	100.0%
2	スクロール 健康保険組合	97.6%
3	青森銀行 健康保険組合	92.4%
4	熊本銀行 健康保険組合	89.3%
5	森下仁丹 健康保険組合	88.9%
6	西京銀行 健康保険組合	88.8%
7	豊島 健康保険組合	88.7%
8	フランスベッド グループ 健康保険組合	86.4%
9	直江津電子 健康保険組合	85.3%
10	日本ケミコン 健康保険組合	85.2%
	東京鐵鋼 健康保険組合	

## 市町村国保（市・区）

順位	保険者名	実施率
1	下呂市 (岐阜県)	92.1%
2	高山市 (岐阜県)	90.7%
3	伊那市 (長野県)	88.1%
4	飛騨市 (岐阜県)	76.0%
5	能美市 (石川県)	72.3%
6	野々市市 (石川県)	68.6%
7	多久市 (佐賀県)	67.9%
8	南アルプス市 (山梨県)	67.5%
9	南砺市 (富山県)	67.3%
10	砺波市 (富山県)	64.1%

## 市町村国保（町・村）

順位	保険者名	実施率
1	南大東村 (沖縄県)	100.0%
	氷川町 (熊本県)	
3	鮫川村 (福島県)	98.3%
4	麻績村 (長野県)	96.8%
5	広川町 (福岡県)	96.4%
	海陽町 (徳島県)	
7	国頭村 (沖縄県)	95.7%
	三島町 (福島県)	
9	川内村 (福島県)	95.6%
10	上勝町 (徳島県)	95.5%

※ 特定健診・保健指導の実施率が全国の平均値より高い保険者を対象として掲載。

※ 特定健診・保健指導の対象者数が10人未満の保険者はランキングの対象外としている。

## 健診・検診の受診率向上に向けた厚生労働省の新たな対策

- 自由民主党厚生労働部会の国民起点PTでの議論も踏まえ、新たな対策を実施。

### 【1】実施状況の見える化

〔これまでの取組〕 特定健診・保健指導の実施率は総計や保険者種別などの数値のみ公表



〔新たな対策〕

- ・ 特定健診・保健指導の保険者別の実施率を公表（本日：3月18日）  
… 厚生労働省ホームページにおいて2017年度実績を公表（今回が初めての公表）

- ・ 厚生労働大臣から、特定健診・保健指導の実施率が特に高い保険者・低い保険者に対して、署名入りのメッセージを送付（3月下旬を予定）

### 【2】好事例やナッジの活用例の横展開

〔これまでの取組〕 「受診率向上ハンドブック」の作成・周知などで個別の工夫を周知



〔新たな対策〕

- ・ ナッジの活用の視点を盛り込んで「受診率向上ハンドブック」を改訂（4月頃を予定）  
… 「ナッジ理論」の考え方と海外・国内の先進事例を具体的に紹介